



2027年3月期
第1四半期決算説明資料

新家工業株式会社

2026年08月24日

証券コード7305

目 次

I. 2027年3月期 第1四半期 連結決算概要	2
II. 2027年3月期 第1四半期 セグメント毎の概要	13
III. 2027年3月期 通期連結業績予想	19
IV. 株主還元等	23
V. ご参考_前期実績	27

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

売上高

108.6 億円

(前年同期比 + 5.6 %)

売上
総利益

23.9 億円

(前年同期比 + 10.5 %)

営業利益

7.4 億円

(前年同期比 + 22.9 %)

経常利益

8.6 億円

(前年同期比 + 16.9 %)

親会社株主に
帰属する
四半期純利益

5.9 億円

(前年同期比 + 52.3 %)

【EPS】
1株当たり
四半期純利益

61円89銭

(前年同期比 + 52.3 %)

2027年3月期 第1四半期 決算のポイント

前年同期比 ： 【増収増益】

鉄鋼業界においては、自動倉庫、半導体関連、造船、エネルギー関連向けの需要は底堅く推移したものの、一般建築・住宅分野では資材価格の高騰や人手不足等を背景に、鋼材需要は総じて力強さを欠く状況が続いた。加えて、原材料価格の上昇、物流費・人件費の増加などを背景に、国内メーカーによる値上げの動きが目立つ状況となった。また、中国からの鋼材輸出が高水準で推移し、国際需給への影響が続く中、中国及び台湾産の一部鋼材に対するアンチダンピング課税の実施や調査が決定されるなど、公正な競争環境の確保に向けた対応が進んだ。

このような事業環境のもと、当社グループは販売数量の確保に努めるとともに、販売価格の適正化、継続的な原価低減活動及び調達先の最適化による購買コストの低減を推進した結果、収益性が改善し、前年同期を上回る利益を計上した。

I .2_1 2027年3月期 第1四半期 連結損益計算書（前年同期比較）

(単位：百万円)	前第1四半期 (2025.04.01~06.30)		当第1四半期 (2026.04.01~06.30)		前 年 同期比	前期実績 (2025.04.01~2026.03.31)	
	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)		金 額	(売上高比)
売上高	10,296	(-)	10,868	(-)	+ 5.6%	40,447	(-)
売上原価	8,130	(79.0%)	8,474	(78.0%)	+ 4.2%	32,129	(79.4%)
売上総利益	2,165	(21.0%)	2,393	(22.0%)	+ 10.5%	8,317	(20.6%)
販売費及び一般管理費	1,558	(15.1%)	1,647	(15.2%)	+ 5.7%	6,431	(15.9%)
営業利益	607	(5.9%)	746	(6.9%)	+ 22.9%	1,885	(4.7%)
営業外収益	153	(1.5%)	198	(1.8%)	+ 28.9%	533	(1.3%)
営業外費用	23	(0.2%)	81	(0.8%)	+ 251.3%	112	(0.3%)
経常利益	737	(7.2%)	862	(7.9%)	+ 16.9%	2,306	(5.7%)
特別利益	-	(-)	0	(0.0%)	-	63	(0.2%)
特別損失	114	(1.1%)	1	(0.0%)	▲ 98.7%	123	(0.3%)
税金等調整前四半期純利益	623	(6.1%)	861	(7.9%)	+ 38.1%	2,246	(5.6%)
法人税等合計	208	(2.0%)	265	(2.4%)	+ 27.2%	694	(1.7%)
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	(0.3%)	5	(0.1%)	▲ 79.5%	31	(0.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	(3.8%)	590	(5.4%)	+ 52.3%	1,521	(3.8%)

I .2_2 2027年3月期 第1四半期 連結損益計算書（計画比進捗率）

当期実績 (単位：百万円)	当第1四半期 (2026.04.01～06.30) 金 額
売上高	10,868
営業利益	746
経常利益	862
親会社株主に帰属する四半期純利益	590

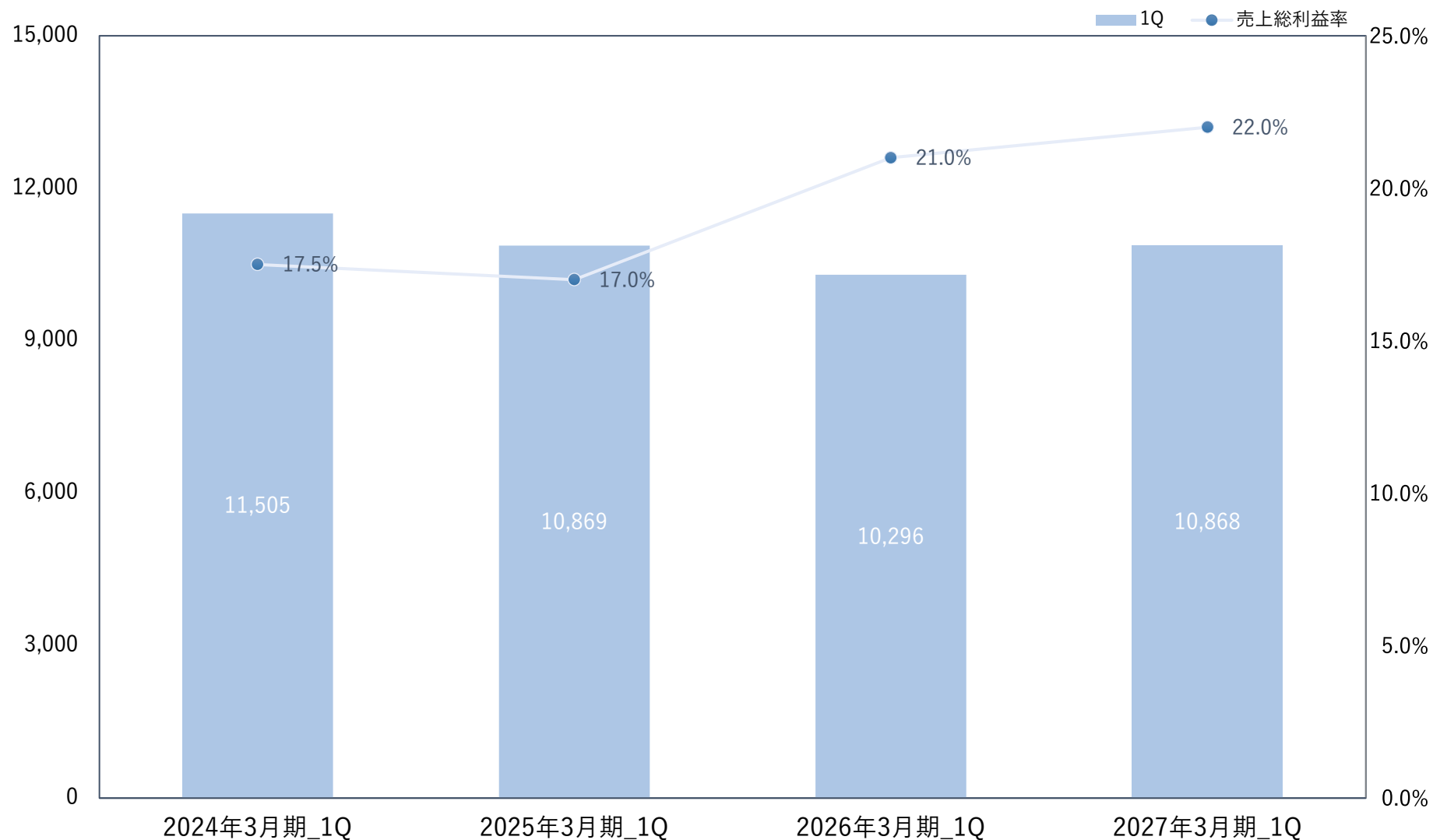
上期 (2026.04.01～09.30) 予想値 計画比進捗率		通期 (2026.04.01～2027.03.31) 予想値 計画比進捗率	
20,000	(54.3%)	42,000	(25.9%)
1,100	(67.8%)	2,400	(31.1%)
1,100	(78.4%)	2,500	(34.5%)
800	(73.8%)	1,700	(34.7%)

(ご参考) 前期実績 (単位：百万円)	前第1四半期 (2025.04.01～06.30) 金 額
売上高	10,296
営業利益	607
経常利益	737
親会社株主に帰属する四半期純利益	387

上期実績 (2025.04.01～09.30) 実績 実績比進捗率		通期実績 (2025.04.01～2026.03.31) 実績 実績比進捗率	
19,850	(51.9%)	40,447	(25.5%)
877	(69.2%)	1,885	(32.2%)
1,055	(69.9%)	2,306	(32.0%)
589	(65.7%)	1,521	(25.5%)

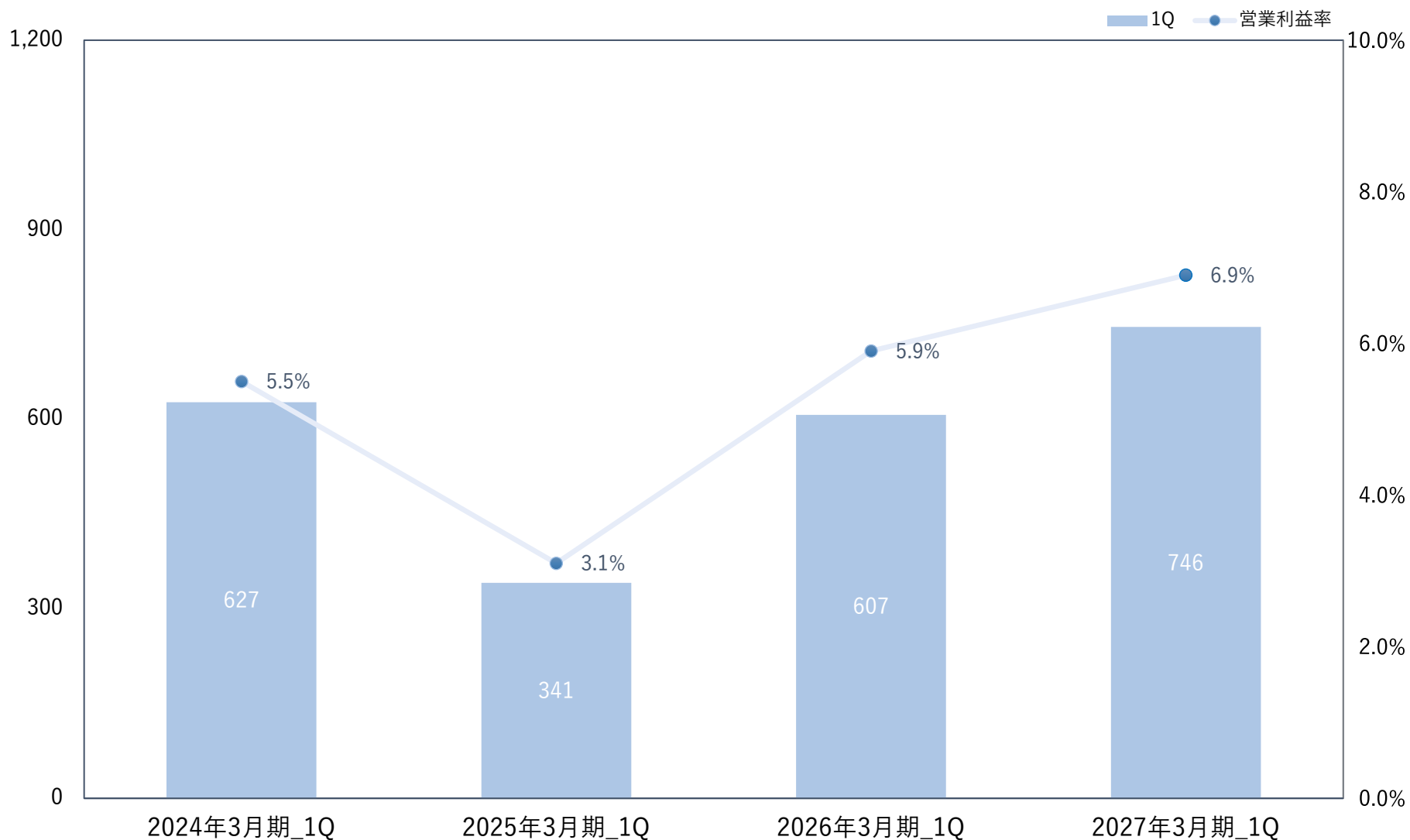
I .3_1 2027年3月期 第1四半期 連結売上高（推移表）

（単位：百万円）



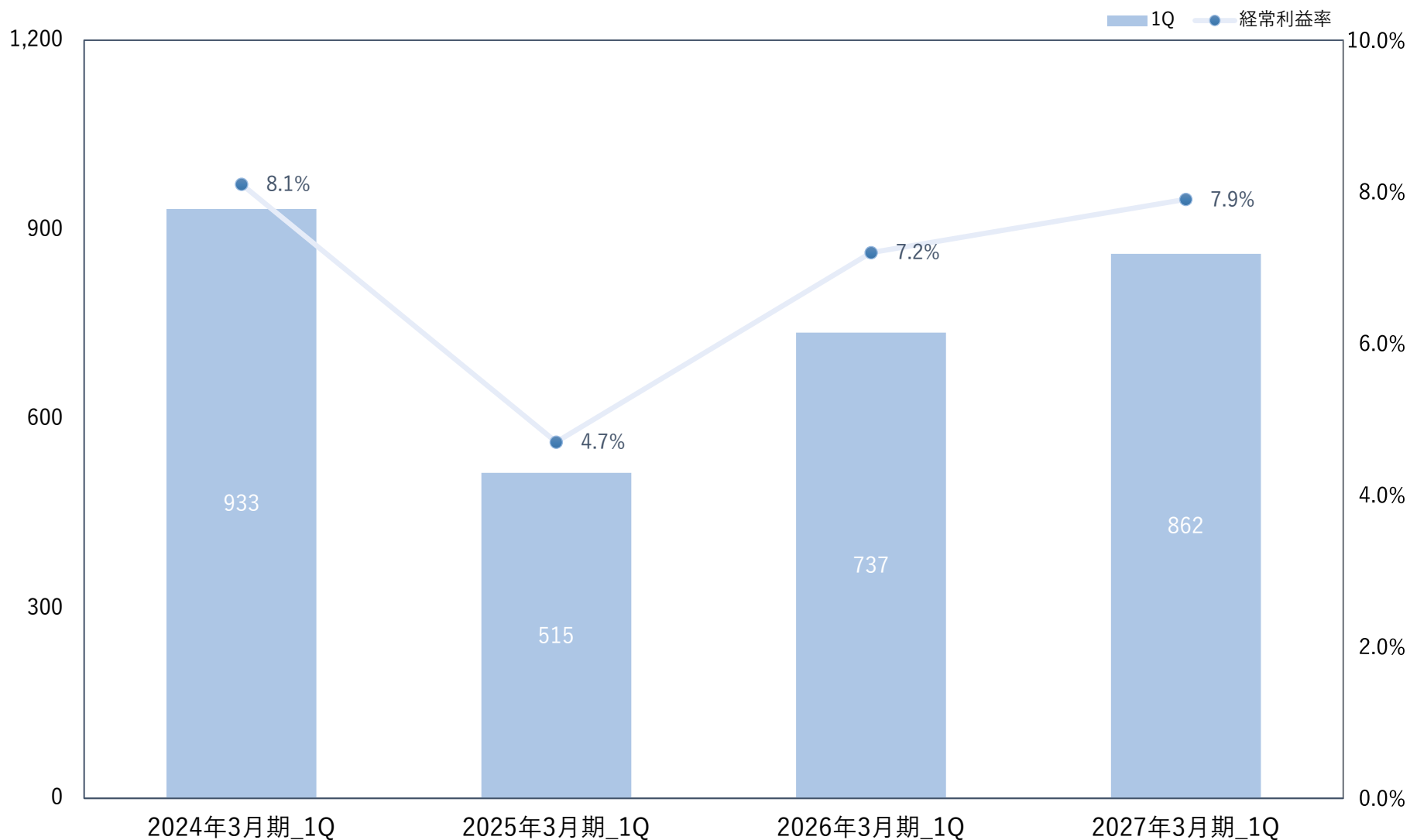
I .3_2 2027年3月期 第1四半期 連結営業利益（推移表）

（単位：百万円）



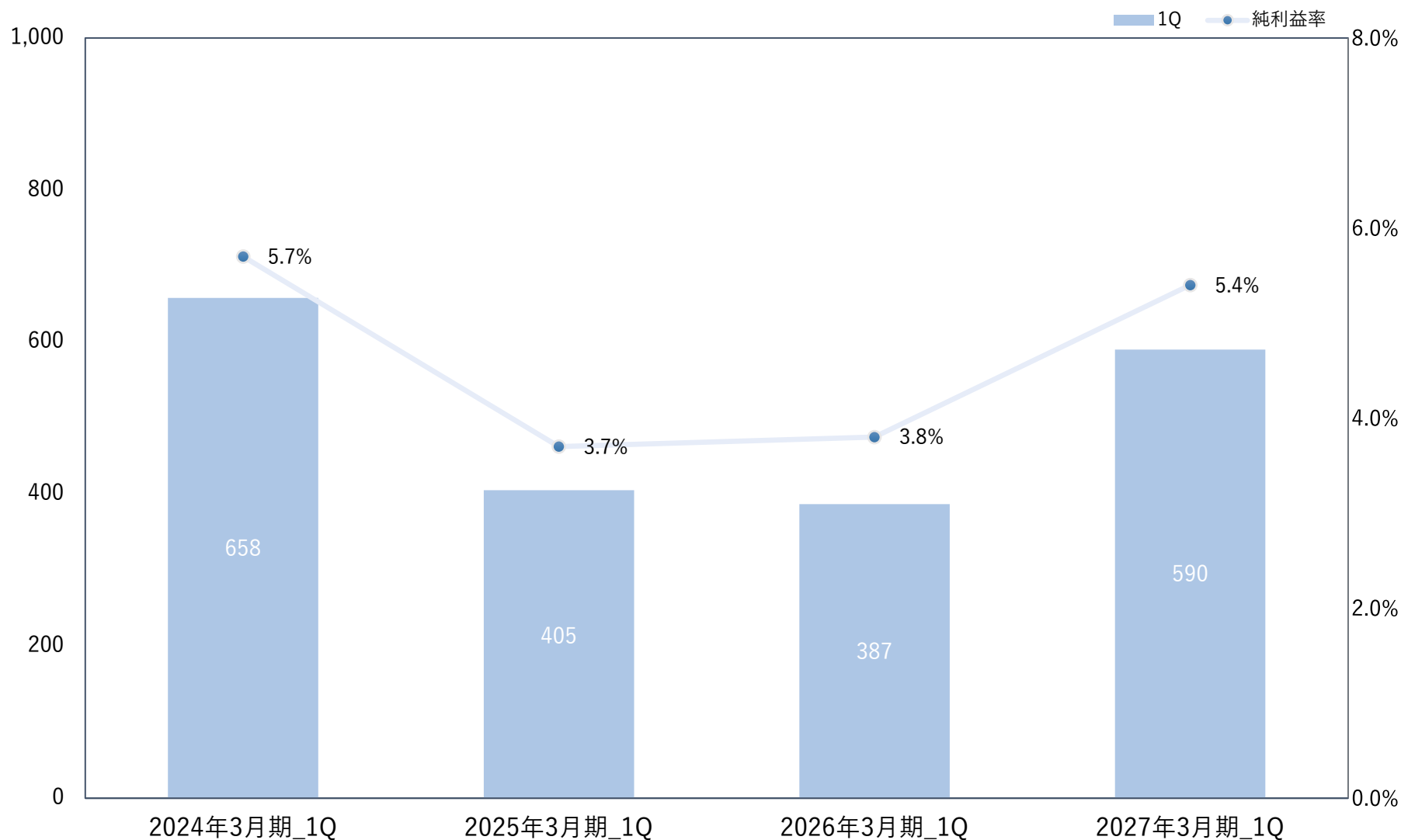
I .3_3 2027年3月期 第1四半期 連結経常利益（推移表）

（単位：百万円）



I .3_4 2027年3月期 第1四半期 連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



I .4_1 2027年3月期 第1四半期 連結貸借対照表の状況

	前年度期末 (2026.03.31)	当第1四半期末 (2026.06.30)	増減額	主な変動事項
(単位：百万円)				
流動資産	29,833	30,298	+ 465	受取手形及び売掛金の増加 + 576
資産の部 現金及び預金	8,801	8,735	▲ 66	-
固定資産	29,688	30,093	+ 405	投資有価証券の増加 + 454
資産合計	59,521	60,392	+ 870	-
流動負債	17,294	18,051	+ 756	支払手形及び買掛金の増加 + 492 電子記録債務の増加 + 377
負債の部 固定負債	7,321	7,463	+ 141	繰延税金負債の増加 + 232
負債合計	24,616	25,514	+ 898	-
株主資本	26,525	26,063	▲ 461	利益剰余金の減少 ▲ 465
純資産の部 その他の包括利益累計額	7,885	8,314	+ 428	その他有価証券評価差額金の増加 + 378
非支配株主持分	494	499	+ 5	-
純資産合計	34,905	34,877	▲ 27	-
負債純資産合計	59,521	60,392	+ 870	-

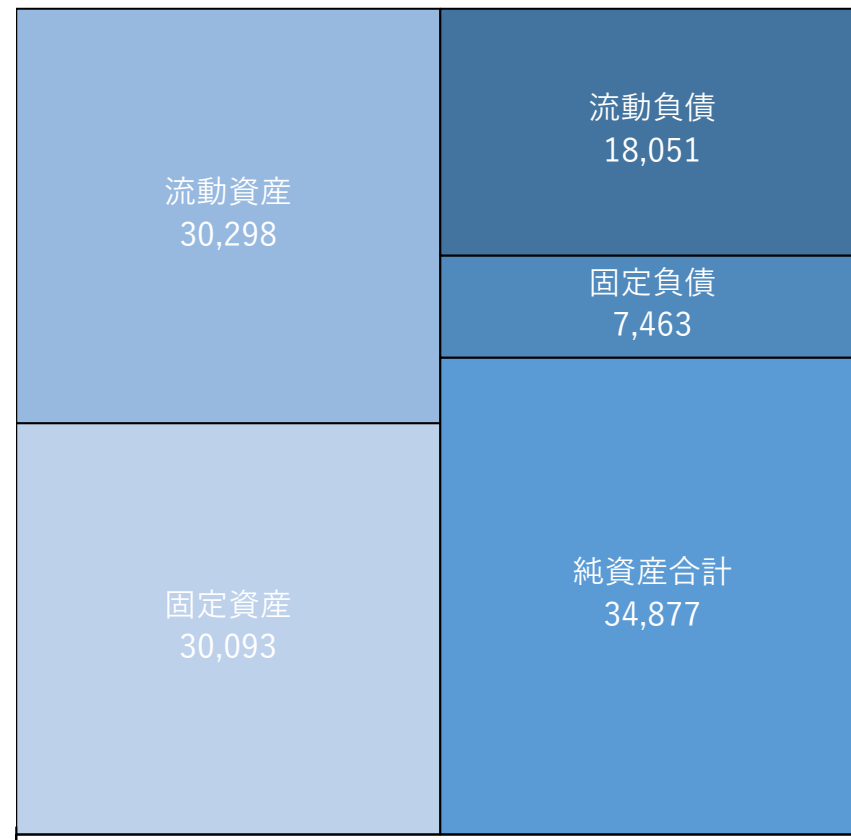
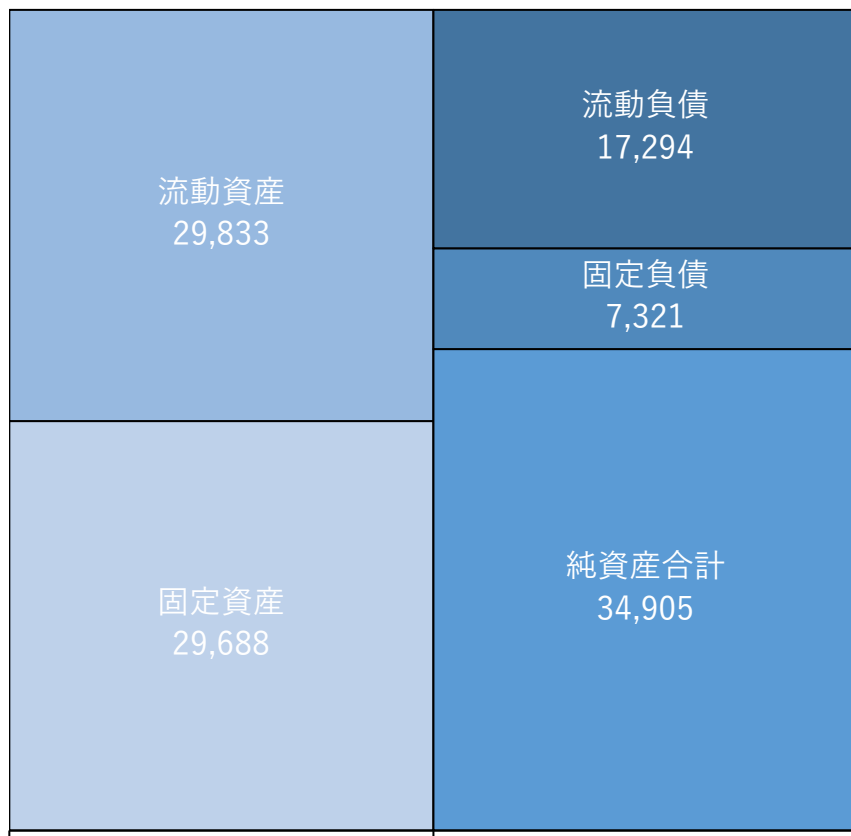
I .4_2 2027年3月期 第1四半期 連結貸借対照表（推移）

前年度期末(2026.03.31)_連結BS

当第1四半期末(2026.06.30)_連結BS

(単位：百万円)

(単位：百万円)



目 次

I. 2027年3月期 第1四半期 連結決算概要	2
II. 2027年3月期 第1四半期 セグメント毎の概要	13
III. 2027年3月期 通期連結業績予想	19
IV. 株主還元等	23
V. ご参考_前期実績	27

※近年の市場動向および事業収益性を踏まえ、2025年12月末をもって完成自転車の輸入販売事業から撤退しております。
これに伴い、従来「自転車関連」として独立した報告セグメントを記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントから除外しております。

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

II.1 2027年3月期 第1四半期 セグメント別売上高等（前年同期比較）

前第1四半期 (2025.04.01～06.30)				当第1四半期 (2026.04.01～06.30)			増減		
(単位：百万円)		金 額	構成比	(営業利益率)	金 額	構成比	(営業利益率)	金 額	率
売上高	鋼管関連	10,050	97.6%	-	10,677	98.2%	-	+ 626	+ 6.2%
	自転車関連	61	0.6%	-	-	-	-	▲ 61	-
	不動産等賃貸	172	1.7%	-	174	1.6%	-	+ 2	+ 1.5%
	その他	11	0.1%	-	15	0.1%	-	+ 3	+ 34.1%
	小計（連結PL計上額）	10,296	(-)	-	10,868	(-)	-	+ 571	+ 5.6%
営業費用	鋼管関連	9,546	98.5%	-	10,102	99.8%	-	+ 555	+ 5.8%
	自転車関連	50	0.5%	-	-	-	-	▲ 50	-
	不動産等賃貸	21	0.2%	-	22	0.2%	-	+ 0	+ 2.1%
	その他	10	0.1%	-	16	0.2%	-	+ 6	+ 62.8%
	調整額	59	0.6%	-	▲ 19	▲ 0.2%	-	▲ 79	-
	小計	9,688	(-)	-	10,121	(-)	-	+ 432	+ 4.5%
営業利益	鋼管関連	504	83.0%	(5.0%)	575	77.1%	(5.4%)	+ 71	+ 14.1%
	自転車関連	11	1.8%	(18.2%)	-	-	(-)	▲ 11	-
	不動産等賃貸	150	24.8%	(87.4%)	152	20.5%	(87.3%)	+ 2	+ 1.5%
	その他	1	0.2%	(9.7%)	▲ 1	▲ 0.2%	(▲ 9.7%)	▲ 2	-
	調整額	▲ 59	▲ 9.8%	(-)	19	2.6%	(-)	+ 79	-
	小計（連結PL計上額）	607	(-)	(5.9%)	746	(-)	(6.9%)	+ 138	+ 22.9%

II.2_1 2027年3月期 第1四半期 鋼管関連セグメント（概況）

売上高	106億77百万円	前年同期比	+ 6億26百万円 （+ 6.2%）
営業利益	5億75百万円	前年同期比	+ 71百万円 （+ 14.1%）

1. 普通鋼製品

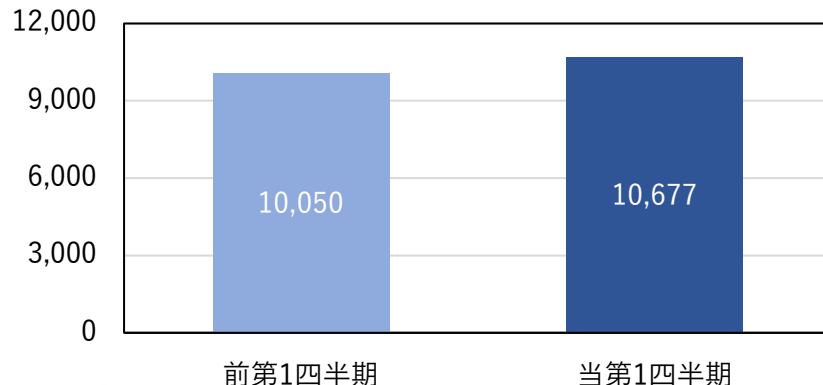
- 主力である建築関連分野において、人手不足や資材価格、物流費などの上昇を背景に、戸建住宅の着工や一般建築需要が低迷し、厳しい受注環境が続いた。また、住宅設備関連分野や梱包資材関連分野では、中東情勢の影響による部材の調達遅延や物流の停滞等により一部製品の出荷に影響が生じたものの、自動倉庫や太陽光架台などのエネルギー関連案件の受注を着実に積み重ねたことから、販売数量は前年同期並みの水準を確保した。

2. ステンレス鋼製品

- 半導体製造装置、エネルギー関連、食品機械及び医薬向け需要が堅調に推移し、建設・建材分野では、人手不足や資材価格の高騰による工事遅延の影響から需要回復は遅れているものの、引き合いは徐々に増加し、緩やかな回復の兆しが見られた。また、円安の進行やニッケル価格・物流費及び人件費の上昇を背景に価格改定が進む中、販売価格の適正化・新商材の拡販及び新規販売先の開拓に取り組んだ結果、収益性が改善した。

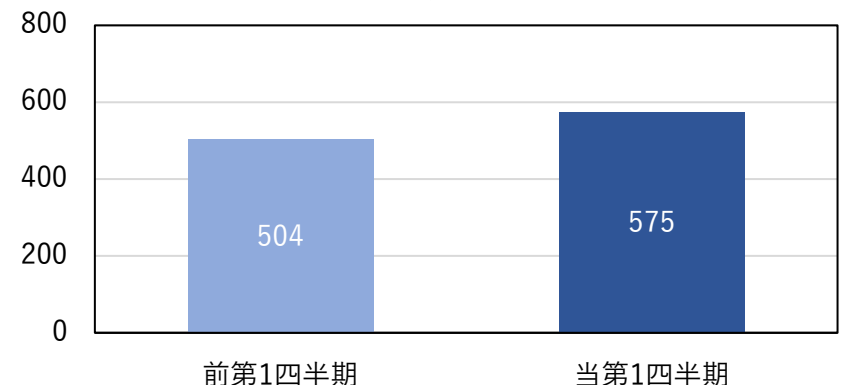
（単位：百万円）

売上高（鋼管関連）



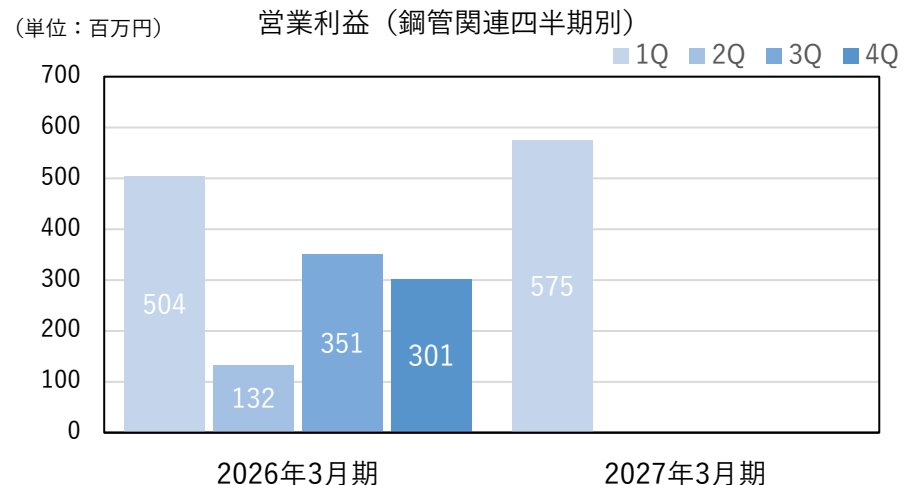
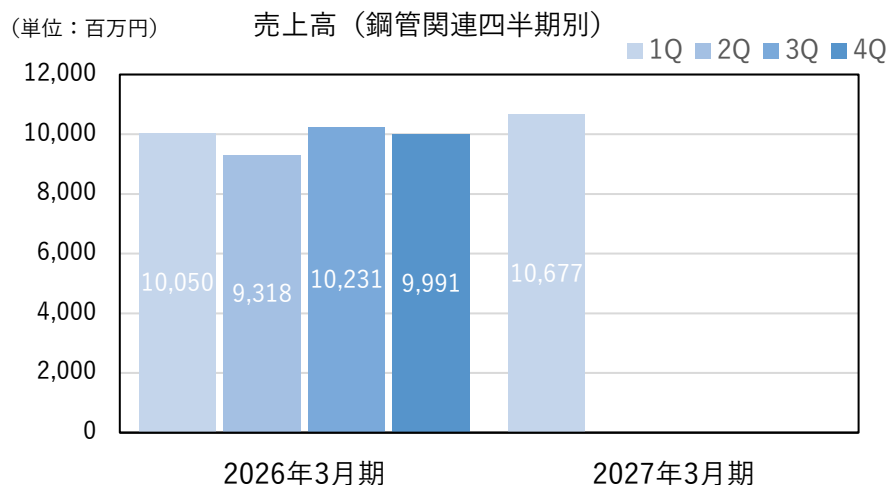
（単位：百万円）

営業利益（鋼管関連）



II.2_2 2027年3月期 第1四半期 鋼管関連セグメント（四半期別比較）

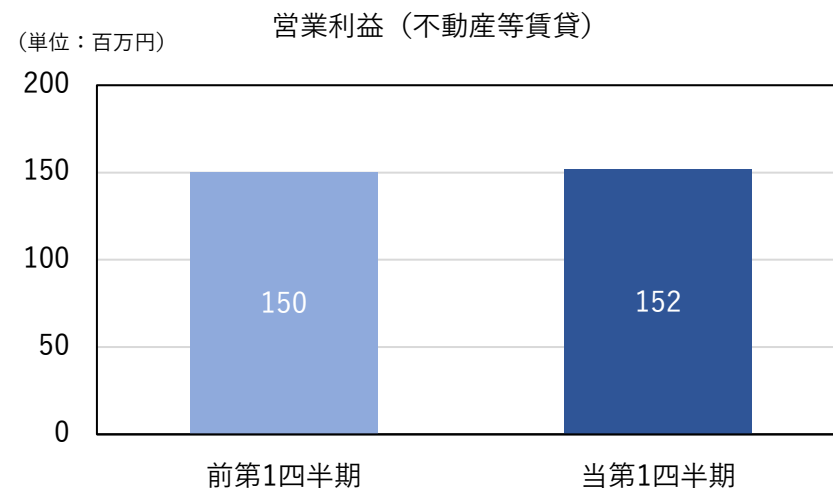
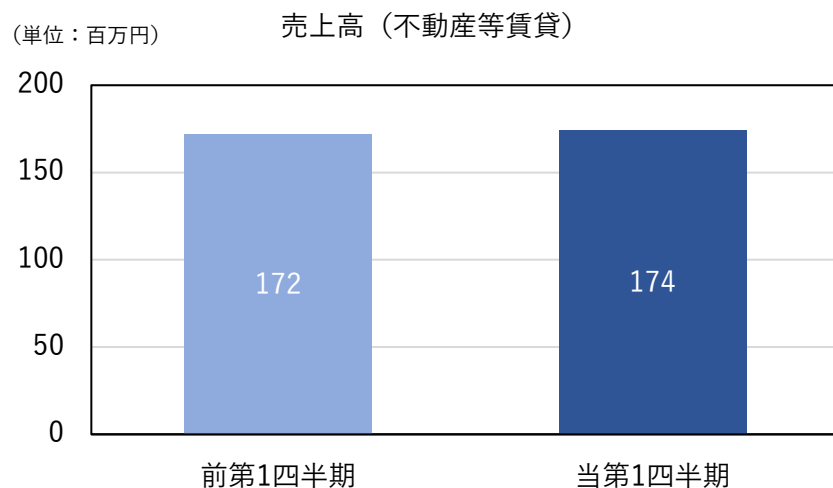
(単位：百万円)		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
		金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率
売上高 および 構成比率	当 期 (2027年3月期)	10,677	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前 期 (2026年3月期)	10,050	25.4%	9,318	23.5%	10,231	25.8%	9,991	25.2%	39,592	-
	増 減	+ 626	+ 6.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益 および 営業利益率	当 期 (2027年3月期)	575	(5.4%)	-	-	-	-	-	-	-	-
	前 期 (2026年3月期)	504	(5.0%)	132	(1.4%)	351	(3.4%)	301	(3.0%)	1,290	(3.3%)
	増 減	+ 71	+ 14.1%	-	-	-	-	-	-	-	-



II.3_1 2027年3月期 第1四半期 不動産等賃貸セグメント（概況）

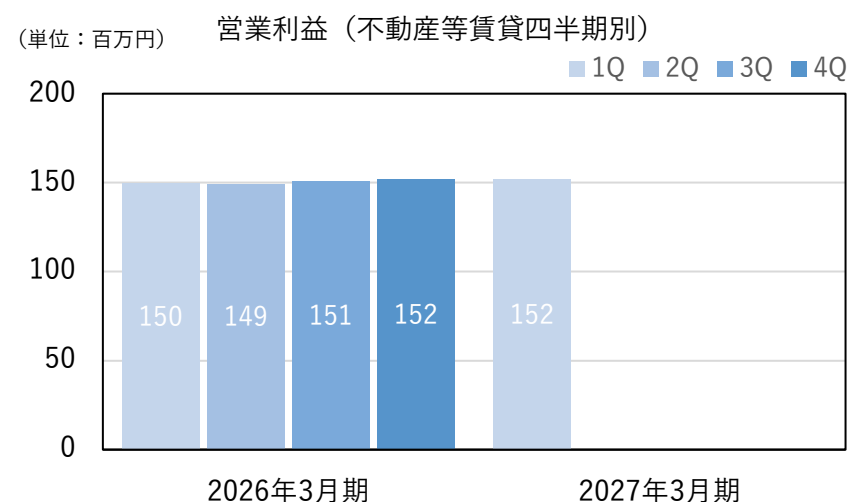
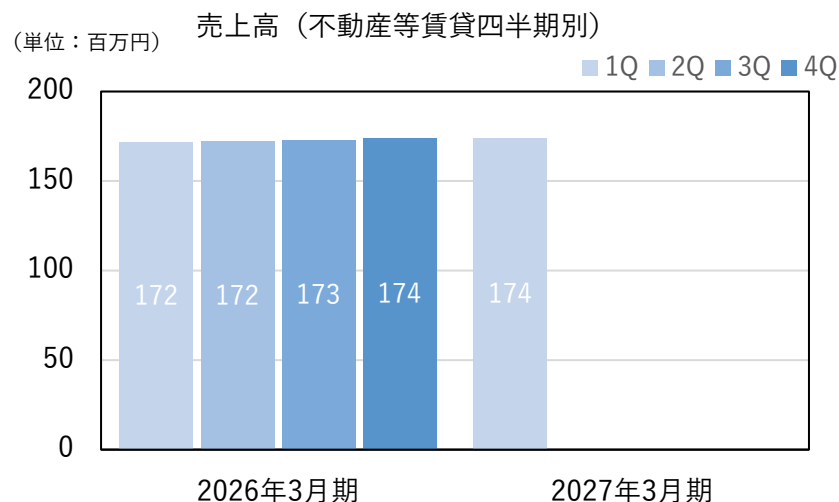
売上高	1億74百万円	前年同期比	+ 2百万円 (+ 1.5%)
営業利益	1億52百万円	前年同期比	+ 2百万円 (+ 1.5%)

- ・ 東京都大田区の地代収入を中心に、関西工場リム工場跡地の地代収入、東京都江東区の自社ビル「アラヤ清澄白河ビル」の賃貸収入、大阪府茨木市の地代収入などにより、安定した収益を確保した。



II.3_2 2027年3月期 第1四半期 不動産等賃貸セグメント（四半期別比較）

(単位：百万円)		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
		金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率
売上高 および 構成比率	当 期 (2027年3月期)	174	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前 期 (2026年3月期)	172	24.9%	172	24.9%	173	25.0%	174	25.2%	692	-
	増 減	+ 2	+ 1.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益 および 営業利益率	当 期 (2027年3月期)	152	(87.3%)	-	-	-	-	-	-	-	-
	前 期 (2026年3月期)	150	(87.4%)	149	(86.4%)	151	(87.3%)	152	(87.1%)	603	(87.0%)
	増 減	+ 2	+ 1.5%	-	-	-	-	-	-	-	-



目 次

I. 2027年3月期 第1四半期 連結決算概要	2
II. 2027年3月期 第1四半期 セグメント毎の概要	13
<u>III. 2027年3月期 通期連結業績予想</u>	<u>19</u>
IV. 株主還元等	23
V. ご参考_前期実績	27

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

Ⅲ.1 2027年3月期 通期連結業績予想

今後の見通し

物価高の影響が続くものの、賃上げの浸透や雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費の緩やかな回復が見込まれ、インバウンド需要は引き続き高水準で推移するとともに、設備投資についても、省力化投資やデータセンター、AI・半導体関連分野を中心に底堅く推移することが期待される。一方で、建設業界では人手不足や資材価格の高止まりによる工事遅延が続き、住宅・建築関連を中心に需要回復にはなお時間を要するものと見込まれる。

鉄鋼業界においては、公共投資や産業機械向け需要には持ち直しの動きが見られるものの、建築関連需要は依然として低調に推移し、自動車向け需要も本格的な回復には至らないことから、国内鋼材需要は総じて力強さを欠く状況が続くものと予想される。また、世界経済の先行き不透明感に加え、各国の保護主義的な通商政策や中国の鋼材需給動向、中東情勢など、海外情勢についても引き続き注視が必要な状況である。

このような経営環境のもと、当社グループは、成長分野である半導体、データセンター及びエネルギー関連向けの拡販を進めるとともに、新規販売先の開拓や新商材の提案を強化することに加え、販売価格の適正化を図るとともに、生産性の向上及びコスト低減に取り組み、収益力の向上に努める方針である。

■ 業績予想について

2026年5月13日の公表値のとおり。

Ⅲ.2 2027年3月期 通期連結業績予想値

売上高

420 億円

(前年度比 + 3.8%)

営業利益

24 億円

(前年度比 + 27.3%)

経常利益

25 億円

(前年度比 + 8.4%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

17 億円

(前年度比 + 11.8%)

1株当たり
当期純利益

178円30銭

(前年度比 + 11.8%)

※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

III.3 中期経営計画2026における連結経営指標計画・目標と実績

(単位：百万円)	2025年 3 月期 実績	2026年 3 月期 実績	2027年 3 月期	2034年 3 月期
売上高	42,845	40,447	46,700	-
営業利益	1,641	1,885	3,500	営業利益率 10.0%以上
経常利益	1,905	2,306	3,700	-
当期純利益	2,128	1,521	2,600	-
R O E	6.4%	4.6%	7.7%	10.0%以上
資本コスト	6.0～8.0%			6.0～8.0%
P B R	0.68倍	0.68倍	1.0倍	1.0倍超

目 次

I. 2027年3月期 第1四半期 連結決算概要	2
II. 2027年3月期 第1四半期 セグメント毎の概要	13
III. 2027年3月期 通期連結業績予想	19
<u>IV. 株主還元等</u>	<u>23</u>
V. ご参考_前期実績	27

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

IV.1 株主還元の方針

株主還元の方針

■ 配当政策の基本方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識し、中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続と業績に応じた適正な利益配分を行うことを基本方針とする。

この基本方針に基づき、2024年3月期以降は、連結配当性向50%程度を目安に経営成績に応じた配当を実施する。

■ 中期経営計画2026（2025年3月期から2027年3月期）期間中における株主還元の方針

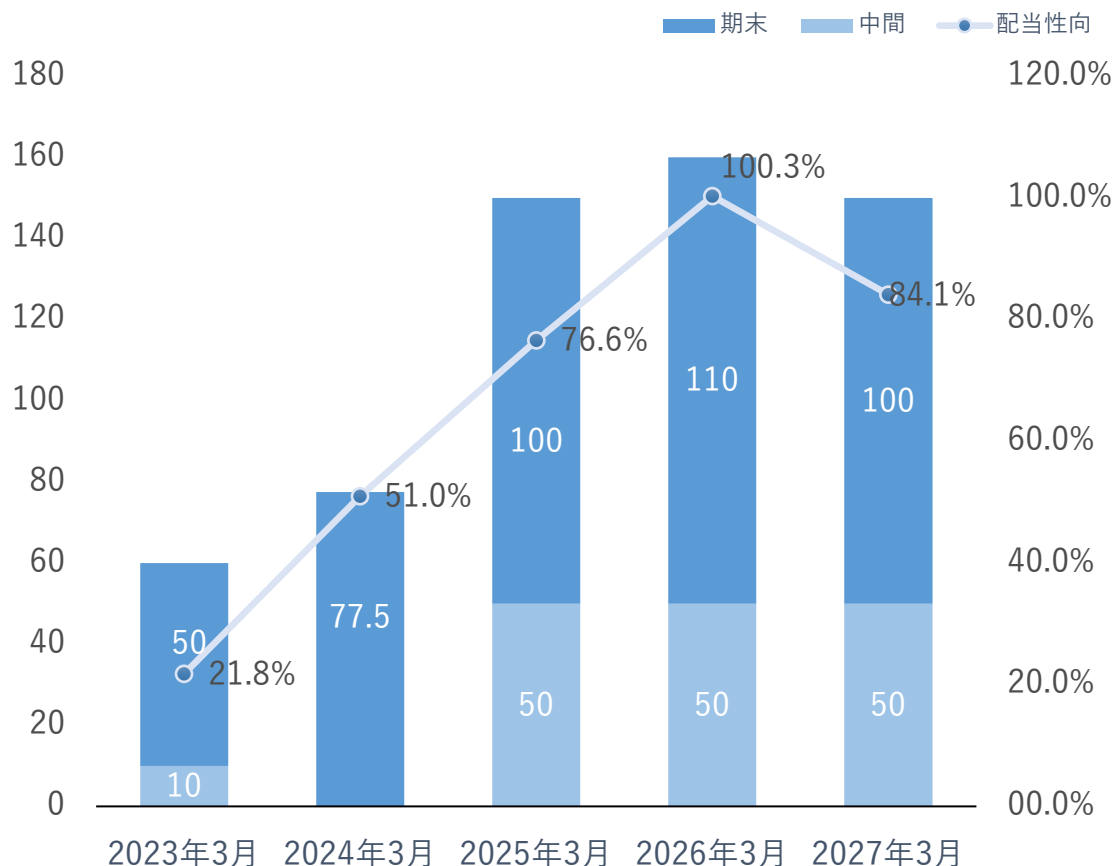
- ・ 2027年3月期のPBR1.0倍達成に向け、本中期経営計画期間中は、総還元性向100%を基本方針に自己資本の拡大を抑制し、機動的な還元を実施する。
- ・ 総還元性向は100%、かつ連結配当性向は50%以上とする。
- ・ 不動産のキャッシュインを活用して、下限配当50円（分割前換算100円相当）を実施する。

IV.2 配当金実績および予想

還元の方針 中期経営計画2026期間の3ヶ年は総還元性向を100%とする。

2026年3月期配当金（前期）	
中 間	50円00銭
期 末	110円00銭
年 間	160円00銭
配当性向	100.3%
総還元性向	101.0%

2027年3月期配当金（当期）	
中 間(予定)	50円00銭
期 末(予定)	100円00銭
年 間(予定)	150円00銭
配当性向(予定)	84.1%



※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

上記の1株当たり配当額は、2022年4月1日に当該株式分割が行われたものと仮定して算出しております。

IV.3 株式分割

株式分割

■ 2027年3月期における株式分割の状況

・ 基準日	2026年3月31日
・ 効力発生日	2026年4月1日
・ 分割した株式の種類	普通株式
・ 分割方法	1株につき2株の割合をもって分割
・ 分割前の発行済株式総数	5,200,000株
・ 分割により増加する株式数	5,200,000株
・ 分割後の発行済株式総数	10,400,000株
・ 分割後の発行可能株式総数	32,000,000株

目 次

I. 2027年3月期 第1四半期 連結決算概要	2
II. 2027年3月期 第1四半期 セグメント毎の概要	13
III. 2027年3月期 通期連結業績予想	19
IV. 株主還元等	23
<u>V. ご参考_前期実績</u>	<u>27</u>

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

V.1_1 2026年3月期（前期）連結損益計算書（四半期別）

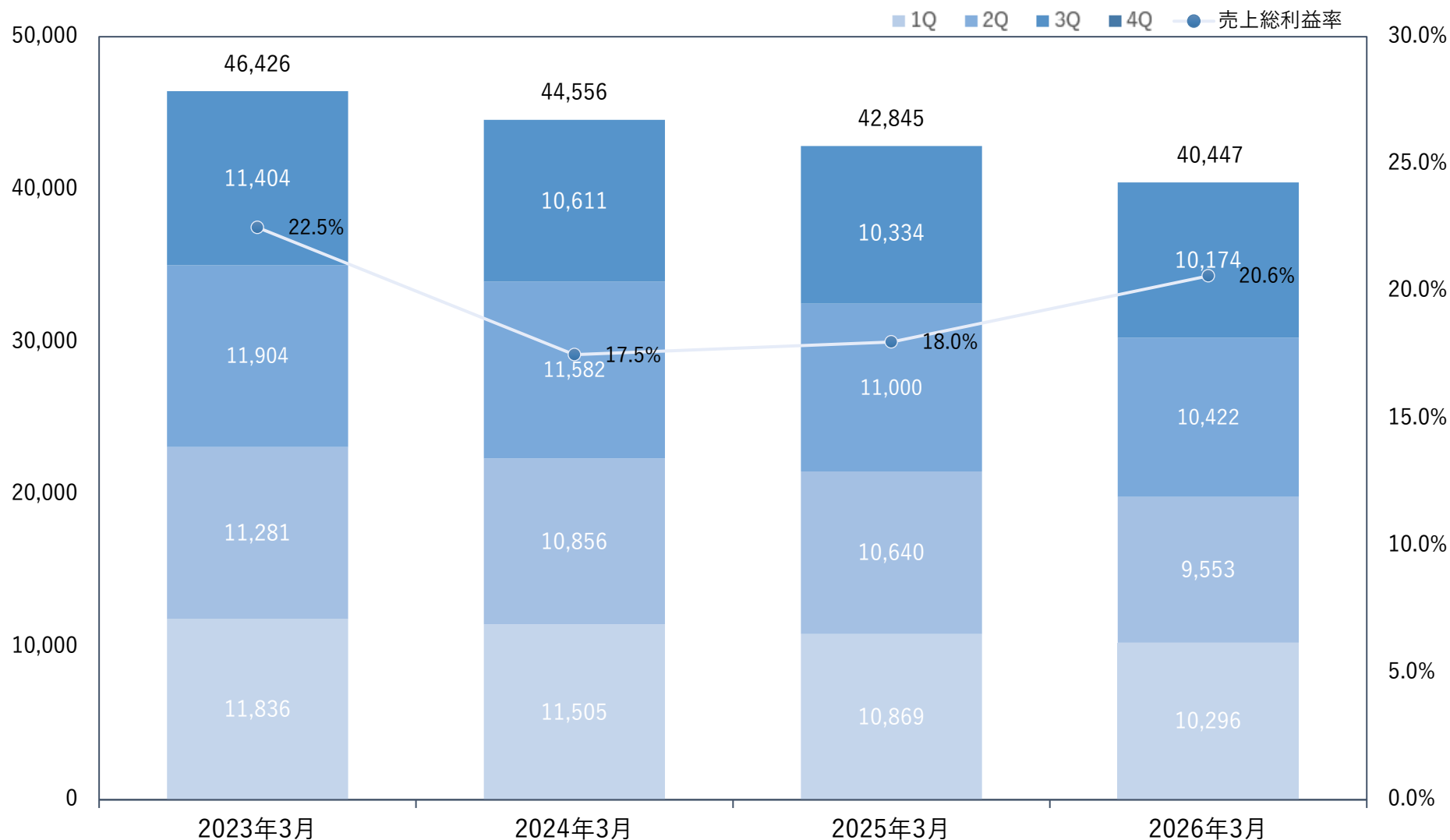
前期実績 (単位：百万円)	第1四半期 (2025.04.01～06.30)		第2四半期 (2025.07.01～09.30)		第3四半期 (2025.10.01～12.31)		第4四半期 (2026.01.01～03.31)		通期 (2025.04.01～2026.03.31)	
	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)
売上高	10,296	(-)	9,553	(-)	10,422	(-)	10,174	(-)	40,447	(-)
売上原価	8,130	(79.0%)	7,654	(80.1%)	8,296	(79.6%)	8,048	(79.1%)	32,129	(79.4%)
売上総利益	2,165	(21.0%)	1,899	(19.9%)	2,126	(20.4%)	2,126	(20.9%)	8,317	(20.6%)
販売費及び一般管理費	1,558	(15.1%)	1,628	(17.0%)	1,614	(15.5%)	1,629	(16.0%)	6,431	(15.9%)
営業利益	607	(5.9%)	270	(2.8%)	511	(4.9%)	496	(4.9%)	1,885	(4.7%)
営業外収益	153	(1.5%)	80	(0.8%)	212	(2.0%)	85	(0.8%)	533	(1.3%)
営業外費用	23	(0.2%)	34	(0.4%)	17	(0.2%)	37	(0.4%)	112	(0.3%)
経常利益	737	(7.2%)	317	(3.3%)	706	(6.8%)	544	(5.4%)	2,306	(5.7%)
特別利益	-	(-)	20	(0.2%)	27	(0.3%)	16	(0.2%)	63	(0.2%)
特別損失	114	(1.1%)	1	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(0.1%)	123	(0.3%)
税金等調整前四半期純利益	623	(6.1%)	336	(3.5%)	733	(7.0%)	553	(5.4%)	2,246	(5.6%)
法人税等合計	208	(2.0%)	138	(1.5%)	190	(1.8%)	156	(1.5%)	694	(1.7%)
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	(0.3%)	▲ 4	(-)	9	(0.1%)	▲ 0	(-)	31	(0.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	(3.8%)	202	(2.1%)	533	(5.1%)	398	(3.9%)	1,521	(3.8%)

V.1_2 2026年3月期（前期）連結損益計算書（4期比較）

(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)	金 額	(売上高比)
売上高	46,426	(-)	44,556	(-)	42,845	(-)	40,447	(-)
売上原価	35,997	(77.5%)	36,745	(82.5%)	35,127	(82.0%)	32,129	(79.4%)
売上総利益	10,428	(22.5%)	7,810	(17.5%)	7,717	(18.0%)	8,317	(20.6%)
販売費及び一般管理費	5,800	(12.5%)	5,757	(12.9%)	6,076	(14.2%)	6,431	(15.9%)
営業利益	4,628	(10.0%)	2,053	(4.6%)	1,641	(3.8%)	1,885	(4.7%)
営業外収益	366	(0.8%)	579	(1.3%)	431	(1.0%)	533	(1.3%)
営業外費用	48	(0.1%)	74	(0.2%)	167	(0.4%)	112	(0.3%)
経常利益	4,946	(10.7%)	2,558	(5.7%)	1,905	(4.4%)	2,306	(5.7%)
特別利益	2	(0.0%)	63	(0.1%)	1,036	(2.4%)	63	(0.2%)
特別損失	330	(0.7%)	24	(0.1%)	34	(0.1%)	123	(0.3%)
税金等調整前当期純利益	4,617	(9.9%)	2,597	(5.8%)	2,907	(6.8%)	2,246	(5.6%)
法人税等合計	1,421	(3.1%)	847	(1.9%)	728	(1.7%)	694	(1.7%)
非支配株主に帰属する当期純利益	135	(0.3%)	57	(0.1%)	50	(0.1%)	31	(0.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,060	(6.6%)	1,691	(3.8%)	2,128	(5.0%)	1,521	(3.8%)

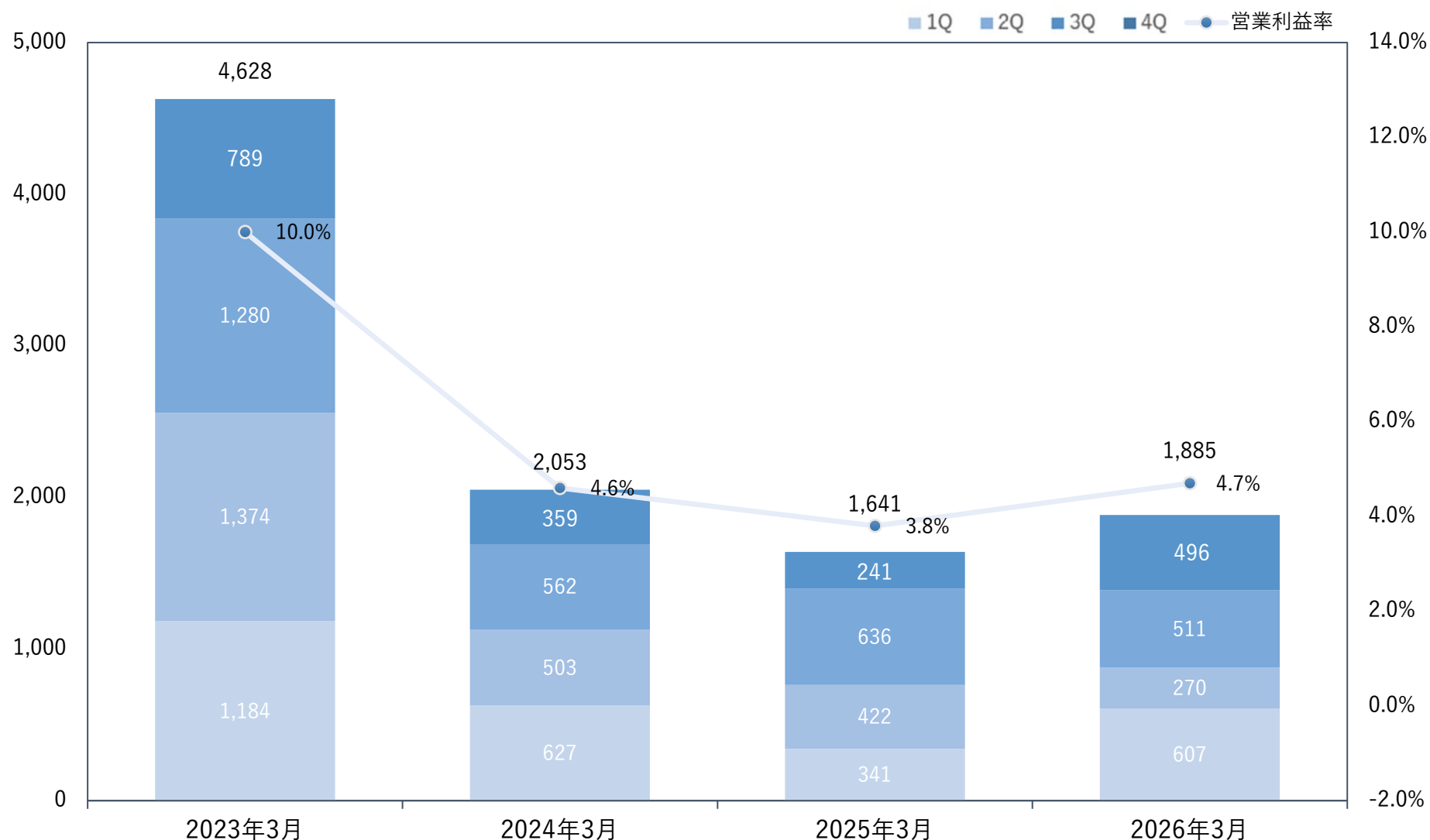
V.2_1 直近4期（2023～2026年3月期）連結売上高（推移表）

（単位：百万円）



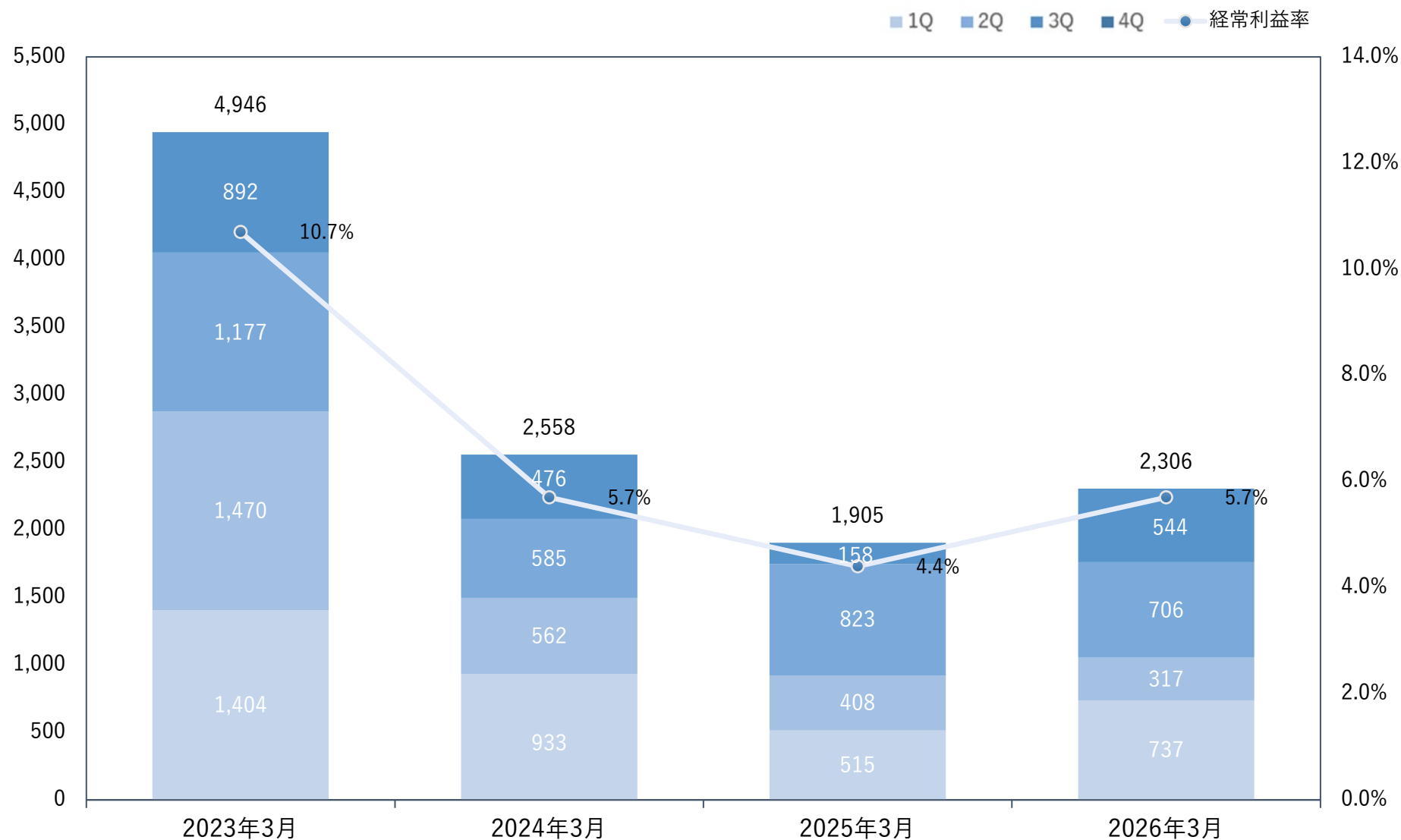
V.2_2 直近4期（2023～2026年3月期）連結営業利益（推移表）

（単位：百万円）



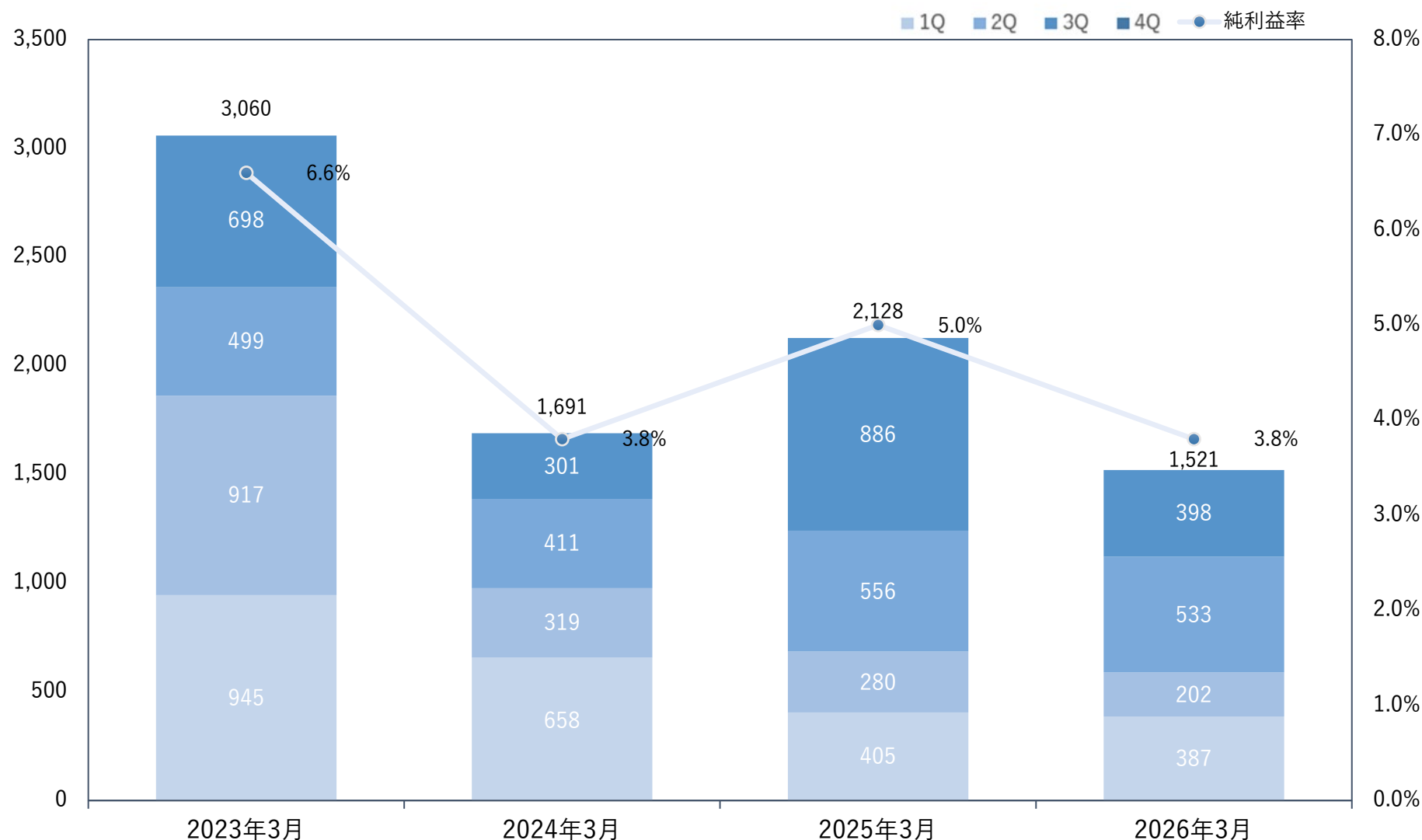
V.2_3 直近4期（2023～2026年3月期）連結経常利益（推移表）

（単位：百万円）



V.2_4 直近4期（2023～2026年3月期）連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）





ディスクレーマー

本資料は投資家の参考に資するため、新家工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されている業績予想ならびに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上を踏まえた上で、投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。